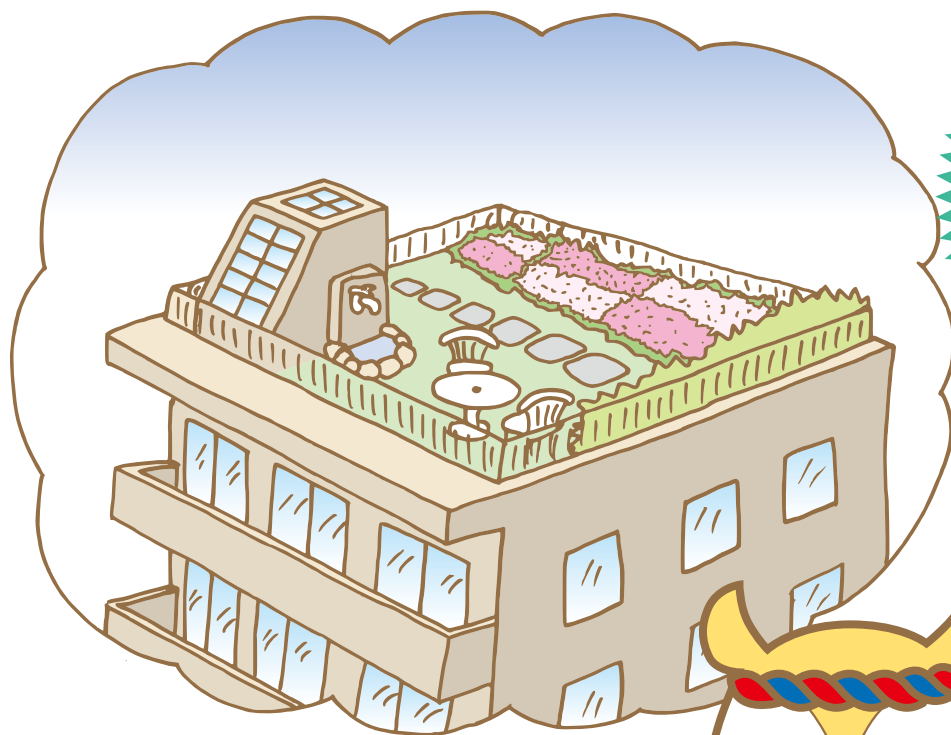


屋上緑化と生け垣造成

建物の温度上昇を抑え、ヒートアイランド現象を緩和する方法は、高反射率塗料のほかに、自然を利用した屋上緑化や壁面の緑化、生け垣造成などがあります。自然の草木を活用することで、CO₂を削減し、緑豊かな生活環境が実現できます。

防災 生け垣はブロック塀よりも地震などの災害時における安全性が高まります。



地球温暖化対策と癒しの効果、それにかかる費用をよく検討してみましょう。



ここに注目

もともと屋上緑化を想定していない場合、実施のためには下記の検討が必要です。

- 重さ対策：屋上や外壁が緑化の重さに耐えられること(重さ対策をした場合を除き、一般的に屋上に載せられる加重の上限は60kg/m²(600N/m²)と定められています)。
- 防水対策：植物の根が防水層を突き破らない対策。
- 風対策：植物や土壌の飛散防止対策。
- 給排水対策：雨が降らない時のための水栓や灌水装置の設置。余剰水が排出される仕組み。
- メンテナンス対策：安全に管理するための手摺の設置。植栽管理費用、給水装置電気代などの諸費用。

ワンポイント

屋上緑化実施の場合、形状が大きく変わるとともに、工事費以外のメンテナンス諸費用や大規模修繕工事の際の撤去復旧費用もかかるため、十分な検討と合意形成が必要です。手続きは特別決議になります。